

2024年度メリー★ポピンズ朝霞南ロルーム事業計画書

1. 基本方針

法人理念「にんげん育てます」

保育方針「センスオブワンダー」「人対人コミュニケーション」に基づき

非認知能力の土台を養う重要な時期である乳児期において、「子どもを真ん中に」メリー★ポピンズ朝霞南ロルームならではの家庭的でゆったりとした温かい雰囲気・子ども一人ひとりの育ちを多角的に捉えた丁寧なかかわりを通して園の良さを最大限に生かした保育を実践していく。

一日一日を大切に丁寧に過ごす。日々の生活のなかで五感をはたらかせて子どもの姿・心の動きを内面から「みる」

- ・「自分はどうするか」職員一人ひとりが試行錯誤をくりかえすなかで自律した集団として学びあう。自分たちで保育を変える意識を持ち、常にアップデートしていく集団となる。
- ・子どもにとって必要な経験・環境を計画的に設定する。「大人が教えねばならぬこと」を理解し、大人は子どもに背中を見せ活動を展開していく。
- ・保護者に寄り添った丁寧な対話を積み重ねていくなかで、園の良さを最大限に伝え日ごろから意見交換のできる関係性を築く。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	大人の主体性・発信力を磨く。
	実践予定内容	学び・教え合う意識を持ち、大人同士が言葉にして伝える力を高める。園会議や園内研修では職員が主体となり研修を行うことで刺激し合いながら学びを深めていく。
2	計画・ねらい	子どもの姿を内面から見つめる・一人ひとりに寄り添った保育の実践。
	実践予定内容	10の姿を用いたドキュメンテーションを実施し、子ども一人ひとりの育ちを共有する。 「子どもの成長は成果ではなく過程を大事にする」という意識を持ち、前向きな姿勢・ポジティブな援助のなかで子どもの姿や心の動きを捉える。
3	計画・ねらい	子どもの姿を捉えた保育計画の作成・実践・振り返り。
	実践予定内容	一人ひとりの発達・心情を見つめ、保育計画に落とし込む。実践・振り返りのなかで大人のかかわりや環境改善し次の計画につなげるサイクルを定着させる。 全職員で共有・意見交換をするなかで、子どもの気持ちと保育者の願いをより合わせて保育の質向上につなげる。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者に寄り添う丁寧なお迎え対応を通し、子どもの育ちを喜び合う。
	実践予定内容	3分間対応の徹底。 傾聴・丁寧な対応をするなかで子育て中の保護者の気持ちに寄り添い、気付きを深め、一人ひとりに合った支援の仕方を構築する。
2	計画・ねらい	保育内容について保護者が深く理解し意見交換のできる関係性をつくる。
	実践予定内容	保育参加を積極的に取り入れ、どろんこ会の保育理念や日々の保育について私たちの取り組みを伝えると共に、一緒に体験していただく。 日課や様々な活動についてポートフォリオなどで保護者に発信し、日ごろから意見交換のできる関係性を築く。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	園の保育に共感し、気軽に遊びにいける場となる。
	実践予定内容	園の地域交流行事において情報発信の方法を調べ、安定的に広く周知できる仕組みをつくる。開催後は職員間で共有し次回開催日へと生かされるようPDCAサイクルを確立する。 継続的に園に来ていただけるよう子育て相談などを通して積極的にコミュニケーションをとり信頼関係を構築する。
2	計画・ねらい	共に育ち育てる意識のなかで、園や朝霞市の子育て支援について全職員が知る。
	実践予定内容	園の子育て支援サービス・保育内容について職員全員が理解し、園見学対応ができるようになる。 職員一人ひとりが朝霞市においての地域子育て支援について調べ、園内で共有する。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	いつ誰が来ても気持ちの良い園・職員。
	実践予定内容	基本的な接遇対応について学び、いかなる来訪者にも対応できる自信をつける。 お迎え対応の内容を園会議や研修で振り返り、定期的な見直しを行う。
2	計画・ねらい	子どもの心情をみる力を養う。
	実践予定内容	10の姿をもとにしたエピソード研修を行う。 研修のなかで職員一人ひとりの子どもを「みる」視点を合わせる。
3	計画・ねらい	リーダー職員の育成。
	実践予定内容	中堅保育者がリーダーシップを発揮しチーム園運営を担っていけるような指導、環境を作る。 MBOの共有を通してリーダー層が中心となり保育の質向上に向けて行動する。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	食の循環を知る。
	実践予定内容	大人と子どもが共に畑仕事(種まき・育てる・間引く・穫る)や、食材加工(梅・漬物など)の活動を計画的に実践する。 魚の解体や収穫した野菜を調理することに日常的にかかわり、命をいただくことを体験する。
2	計画・ねらい	食べ残しを減らし、再利用できるしくみを知る。
	実践予定内容	給食残渣を減らすために個々に合わせたバイキング給食を実施する。 残渣から堆肥生産を行い有効活用できることを子どもたちと一緒に実践し、知っていく。

〈6〉保育を魅力ある仕事にする

1	計画・ねらい	ゆとりのある保育環境。 働きやすい・働きがいのある職場環境づくり。
	実践予定内容	職員一人ひとりのタスクを共有し、リーダー職員を中心に園全体で計画的に進めていくことで業務の軽減・無駄な残業を減らす。 保育計画の書き方や行事の準備など様々な業務において、子どもにとって必要な部分だけを残すよう再考する。
2	計画・ねらい	誰もが働きたいと思える園となる。
	実践予定内容	現場主体となってこれからの保育を担う人材を見つける意識を持ち、保護者同様に実習生や学生見学対応などの接遇を学ぶ。 学生対応のなかで、どろんこ会の保育の魅力について全職員が自分の言葉で伝えられるようになる。

2.施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	6人	0人	0人	0人	18人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	4人	看護師	—	栄養士	—	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	1人	補助	1人	看護師	1人	事務	—

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	園内研修、コンピテンシー、研修報告
給食運営会議	月1回	食育活動、喫食状況の共有
事故防止委員会	月1回	インシデント、ヒヤリハットの分析、自園含む系列園での事故におけるケーススタディ
ケース会議	月1回	要支援児個別計画の振り返り、次月計画の見直し

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	連絡及び経営Visionとの接続
施設長勉強会	月1回	マネジメント・コンプライアンス研修 課題改善計画立案及び取組成果発表
食育会議	年4回	献立内容の改善、提案 給食提供マニュアル及び運用ルールの作成、見直し 食育計画策定
保健会議	年4回	感染症対策やガイドラインの作成、改善 保健計画策定
主任会議	月1回	マネジメント・コンプライアンス研修 課題改善計画立案及び取組成果発表
子育ての質を上げる会議	月1回	コンピテンシーを用いての自己研修 課題改善計画立案及び取組成果発表

〈3〉各種系の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域の衛生管理・備品管理
危機管理係	環境玩具の点検・環境安全備品
防火管理者	避難訓練の立案・見直し 設備の防火管理
食品衛生責任者	食品管理・食育計画の立案・調理室の衛生管理
環境設定係	室内のゾーン設定の定期的な見直し
地域交流係	青空保育・地域交流行事の立案

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生活リズム、家庭環境、個性を出来る限り把握したうえで園児、保護者が安心して登園できるようにする。 ・情緒の安定を図り、安心できる日常の中で「よく食べ、よく遊び、よく寝る」生活リズムを獲得する。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び、巧妙性を伴う活動、感触遊び、日常生活を通して五感を使い感覚の働きを豊かにする。 ・身の回りのことに興味を持ち、自分でやってみようとする気持ち育む。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載

・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	自分で決める、自分で選ぶ。
	実践予定内容	年齢や発達に応じた子ども自身の選択を尊重し、食事の時間を楽しむ。 1歳児後半から段階的にバイキング給食にすることで個々に合わせた食事を提供し、完食する楽しさを感じる。
3	計画・ねらい	野菜の下処理・クッキング。
	実践予定内容	食育活動は連続性を意識し行っていく。畑で収穫した野菜だけでなく日ごろから野菜の下処理を経験することで、日々の給食で提供される食材に興味を持つ。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	看護師を中心にうがい、手洗いの習慣化 歯磨き習慣が身につく取り組みを行う
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 夏季期間・・・水いぼ、とびひ、手足口病、プール熱 冬季期間・・・インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎、RSウイルス
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	保護者より申し出があった場合のみ対応
エピペン使用できるスタッフ	本日現在9名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員1名については4月末日までに受講予定
AED使用できるスタッフ （AED設置施設のみ）	本日現在9名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員1名については4月末日までに受講予定
その他保健に関する取組	月一回の身体測定 日々の園児の健康状態の確認（視診、触診、家庭との情報共有） 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子どもが安心して遊び込める室内環境。
	実践予定内容	環境係を中心に、発達に応じた玩具の設置・保育室内の動線を考え、安全面に配慮しつつ子どもたちに必要なゾーンの展開を定期的に見直し改善していく。
2	計画・ねらい	五感を意識した環境設定。
	実践予定内容	室内環境に季節を感じられる自然物や、子どもたちの表現活動の作品を積極的に取り入れる。

		大人の声の大きさや子どもへの寄り添い方など職員一人ひとりが人的環境について学びを深める。
--	--	--

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容 防災訓練	消防計画に基づき毎月1回避難訓練を行う。避難経路の確認、消火活動の実施、保護者への発信等を行う。
2	実践予定内容 防災設備点検	消防計画に基づき自動火災探知機、煙感知器、誘導灯、排煙窓の点検
3	実践予定内容 防犯対策	消防計画に基づき、年2回不審者侵入訓練を行う。
4	実践予定内容 マニュアル設置	マニュアルNO3 危機管理マニュアルの設置
5	実践予定内容 事故防止	ハザードマップの随時見直し、怪我発生時の対応フローチャート設置、ヒヤリハット・インシデント報告書、事故記録簿作成是正振り返り共有。



6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

地域におけるボランティアの養成、次の世代を担う保育等の現場で活躍する人材育成のため、積極的に受け入れる。

子どもたち、保育者にとっての人とのふれあい、共に学び合う場として次世代交流として行う。

1	実践予定内容	中学生の体験学習の受け入れ
2	実践予定内容	保育の実習生、中学生以上のボランティアの受け入れ

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■入社時オリエンテーション ■現場OJT研修 ■保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■コンピテンシー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■新人社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■全社員研修 (年1回) ■園内研修 (月1回以上) ■保育スキル研修 (エリア別) ■リーダー養成研修 (9~2月) ■業務改善研修 (月1回) (=保育の質を上げる会議) ■施設長勉強会 (月1回) ■デンマークインターンシップ (年1回) ■コンピテンシー自己採点 (月1回) ■人権チェック (4月・10月) ■外部研修 ■上級救命救急資格取得講習
<p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	 <p>←避難訓練研修</p>	

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② リズム体操研修	振り返りとアクションプラン作成 (毎月1月まで継続実践) リズム体操のポイントについて実践
5月24日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② リズム体操研修 ③日課について	リズム体操のポイントについて実践 日課の大切さと意味について
6月28日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 日課について ③水遊び危機管理研修	乳児における日課について 水遊びのリスクマネジメント
7月26日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 保護者対応	お迎え対応・保護者との信頼関係の 築き方
8月23日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 保護者対応 ③子どもの人権について	保護者からのクレーム対応について 子どもの権利条約・事例を元に保育 者としてのかかわりを再確認する
9月27日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② MBO・係の中間振り返り	各職員のMBOと係の取り組みについ ての振り返りを共有、年度末に向け てのアクションプランを設定する
10月25日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 見失い防止	保育者の立ち位置・人数確認につい て

施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士 大学講座および社 内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デモンクインテンシッ*	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域の保護者が保育園に足を運びやすいイベントを行う。日頃の散歩先での地域の保護者や、園見学に来た保護者に積極的に「いつでも遊びに行くことができる保育園」ということを知ってもらう。また地元の高齢者や地域の豊かな人材とつながりを持ち、様々な人との交流に発展できるようにする。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：あかね公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	地域参加型行事の開催 ボランティアの受け入れ
異年齢交流	日常保育で実施 他保育施設と連携をし、関わりを継続していく
地域拠点活動	自然食堂 自然学校 芸術学校 寺親屋 公園清掃 園開放

9. 小学校との連携の計画

該当なし

10. 要支援児計画

〈3〉個別支援計画の作成・見直し

状況に応じて行う。関係機関、本部連携を取りながら支援をしていく。

〈4〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：2～4名予定)

年齢担当職員を中心に、施設長、看護師で話し合い、職員全体へ共有していく。

〈5〉進級引継、および、小学校への引継

仲町どろんこ保育園との連携引継ぎ

11. 子育て支援事業

園に來訪した親子に都度署名をもらい、月間延來場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(金) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30
自然食堂	毎月2回 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎月1回 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(金) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育	月1回 公園名：あかね公園にて開催

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2024年6月に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時00分

自己評価終了予定時刻：17時00分

自己評価実施予定者：施設長、全職員

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3.3 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	日課の意味を捉え、継続実践する。 子ども主体の保育の徹底をする。
	振り返り	まずは大人が日課の意味を理解し背中を見せ継続実践をすることができた。園内だけでなくポートフォリオなどを用いて保護者にも日課の大切さを発信した。 継続実践するなかで参加をしない子、登園が間に合わないなどの理由で全員が継続的に参加をすることができなかった。 発達表をもとに子ども一人ひとりの育ちの姿を共有し保育計画の立案をすることで、全職員が子ども一人ひとりに寄り添い丁寧な保育を行うことができた。 いつ誰が来ても気持ちの良い園となるよう美観に意識をしながら、定期的な室内環境設定の見直しを行った。 子どもの今の姿に合わせた環境設定をすることで、子どもが集中して遊び込めるゾーン保育が確立できた。 物的環境は充実したが人的環境への意識が及ばず、子どもへの寄り添いについて課題が残った。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	職員自身の学びを深め、大人の主体性・発信力を磨く。 共に育ち育て合う。子どもの成長を保護者と一緒になり喜び合える園となる。 地域に園の良さを感じてもらう。
	重点施策	保育者としての専門性を高めるために法人内・朝霞市の研修等を積極的に受講し、会議等で発信する。 お迎え時等で積極的に声掛けをし、保育参加率を上げる。保育参加を通して園の保育について意見交換を積み重ねていく。 様々な地域交流活動を職員一人ひとりが考え展開する。地域への宣伝方

		法について調べ実践する。
2025年度	目指す姿	職員一人ひとりの学びを地域へと発信する。 また来たい園、話したいと思われる保育者となる。
	重点施策	職員の学びと知識について寺親屋等で地域へ発信する。 朝霞市の子育て支援について職員が理解する。 一時保育の必要性を理解し、利用率を上げる。
2026年度	目指す姿	朝霞南ロルームならではのアットホームな雰囲気とおもてなし、誰でも気軽に立ち寄れる園となる。 「子どもをまんやかに」職員・保護者・地域が一体となって子育てをする。
	重点施策	一度来訪した方に対して継続的なコミュニケーションを図り、リピーター率を上げる。 近隣の園との連携を図り、朝霞の子育て課題や質上げのために何が必要かを考え研修や行事を展開する。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ朝霞南ロルーム 施設長 黒沢 果穂